

## 第6学年学級活動（3）指導案

児童 男子10名 女子7名 計17名

指導者 少路 綾子

### 1 題材 「なりたい自分に向かって～学習をレベルアップしよう～」

学級活動（3）ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館などの活用

### 2 題材について

#### （1）児童の実態

本学級の児童は、毎日家庭学習に取り組み、1学期に比べ、時間を意識して取り組んだり色分けをしてまとめる工夫をしたりするなど、意欲的な取組が見られるようになってきた。しかし、家庭学習において重視している自主学習に関しては、学習内容に偏りが多く見られ、自己の学習課題を見出し、改善に向けて取り組んでいる学習内容には至っていない。

#### （2）題材設定の理由

自分の課題に即した学習に取り組むことは、学力向上だけでなく、自分の課題を解決し、さらに自分を高めることにもつながり、なりたい自分（自己実現）への基盤となると考え、本題材を設定した。家庭学習の意義や必要性を理解させながら、自分を見つめ、課題を見出し、解決策を話し合い、実践を通して主体的な取組へとつなげたい。また、題材を通して、様々な学びは、将来の選択肢を多くし自分の可能性を広げるとともに、生活をより豊かにすることにもつながる等、学ぶことへの価値にも気付かせていきたい。さらに、今後の予測不可能な社会で自分らしく生きていくためにも、自分の課題に即した学びの意義と必要性を身に付けさせたい。

### 3 育成を目指す資質・能力

知識及び技能	学習することの楽しさや価値に気付き、学習の見通しや振り返りの大切さを理解し、行動の在り方を身に付けるようにする。
思考力、表現力、判断力等	自己の生活や学習の課題について考え、自己への理解を深め、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら主体的に行動する態度を養う。

### 4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

## 5 研究にかかわって

知る力	自他のよさや可能性を知る。
◎高める力	自分の力を高め、実践する。 ・なりたい自分に向かう具体的な取組を考え、主体的な学習態度を身に付け、行動している。 【思考・判断・表現】
つながる力	他者にはたらきかける。

〈「高める」ための手立て〉

### (1) 効果的な情報提供

現在の学習が将来へつながり自分に合った学習方法を見つけるきっかけとなる映像を準備し、児童の思考判断の手助けとなるようにする。

### (2) 家庭との連携

主体的に学習に取り組むように、家庭学習の意義や必要性、取組方法などを伝え、家庭との連携を深める。

## 5 事前の指導

児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
1 アンケートに記入する。	・普段の自主学習の取組や自分の学びについて振り返り、題材に関して関心を高めるようにする。 ▷ アンケート	◇アンケートに回答することで、これまでの学習について振り返り、自分を見つめることができている。 【思考・判断・表現】 (アンケート)
2 イメージマップを作成する。	・自分の夢の実現に向けて様々な学習が関わっていることに気付くことができるようにする。 ▷ イメージマップ	

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

学ぶことの意義や将来へのつながりを理解し、現在の学習をレベルアップした取組を考え意思決定し、実践につなげることができる。

### (2) 本時の展開

	児童の活動	・指導上の留意点 ・資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
つかむ 5分	1 課題の把握 アンケート結果から現状を振り返る。 ・毎日提出している ・毎回同じような学習内容になっている。 ・自分が興味ある内容だったらたくさんできる。	・成果と課題を明確にして現状を把握させる。 ・成果を認めつつ、個人または学級全体としての課題に気付くことができるようにする。 ▷ アンケート結果	◇題材を自分事として捉え、課題をもっている。 【態度】 (アンケート)
	自分に合った自主学習の方法を考え、レベルアップする取組を決めよう。		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">さぐる・見つける 25分</p>	<p>2 可能性への気付き</p> <p>(1) 現在の学びと将来へのつながりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な学習をすることは、将来なりたい職業ができたときに役に立つ。</li> <li>・自分の夢を叶えるために自主学習が必要。</li> </ul> <p>(2) 「可能性への気付き」で分かったことと比較し、自主学習の状況を具体化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ内容が多かった。</li> <li>・時間が短かった。</li> </ul> <p>3 解決方法の話し合い 自主学習のレベルアップの方法について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習に主体的に取り組む意義や必要性を理解させる。</li> <li>・自主学習は、自己の可能性や学びを広げ、なりたい自分に近づく大切な取組であることにも気付かせる。</li> </ul> <p>▷ 身近な大人の方の動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー動画を視聴することで、現在の学習が将来の自分につながっていることを捉えさせる。</li> <li>・自分のこれまでの自主学習を振り返り、見直させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できていないという否定的な考えではなく、どのようにすればもっとレベルアップできるのかという肯定的な視点で自己理解させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だけではなく、学級全体がレベルアップできる視点でも考えるようにする。</li> <li>・解決方法を分類、整理して多くの考えを導き出すようにする。</li> <li>・互いの意見を認め合わせることで、自主学習への取組を前向きに捉え、実践意欲を高めるさせる。</li> </ul> <p>▷ 身近な大人、中学生の学習方法の動画</p>	<p>◇学ぶことの意義や将来へのつながりを理解している。 【知識・技能】 (発言)</p> <p>◇自主学習の取組について自分の課題に気付いている。 【思考・判断・表現】</p> <p>◇将来へつながるよりよい学び方について話し合っている。 【思考・判断・表現】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">決める 15分</p>	<p>4 個人目標の意思決定</p> <p>(1) 自分の取組を決める。</p> <p>(2) 取組を発表し合う。</p> <p>(3) 本時の振り返りをする。 実践に向けてがんばりたいこと、実践を通してどんな自分になりたいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いで見つけた解決方法をもとに、自分に合った取組を決めさせる。→意思決定〈選ぶ〉</li> </ul> <p>▷ カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決めた取組を発表し、意欲を高めさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めたことを大切にするとともに、最後まで粘り強く取り組みことを確認する。</li> </ul>	<p>◇多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定している。 【思考・判断・表現】 (カード記述)</p>

## 7 事後の指導

児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
<p>1 実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれが決めた、レベルアップした学習方法に主体的に取り組む。</li> </ul> <p>2 自分の実践を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに努力したことや工夫したことについて認め合うようにしたり声かけをしたりして、実践の継続化を図る。</li> <li>☆家庭との連携を図り、継続して実践できるようにする。</li> <li>一定期間を経た段階で、良い工夫例を発表して参考にし、必要に応じて新たなめあてを立てさせる。</li> </ul> <p>▷めあて・実践カード</p>	<p>☆なりたい自分に向かう具体的な方法を考え、主体的な学習態度を身に付け、行動している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (行動観察、実践カード)</p> <p>◇自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら主体的に行動しようとしている。</p> <p>【態度】 (行動観察)</p>

## 8 板書計画

